

第56回

# 人権交流京都市研究集会

2025年3月1日【土】 午前9時半～

会場 京都テルサ (テルサホール)

全体会 午前9時半～  
京都テルサ (テルサホール)

分科会 午後1時半～  
(京都テルサ / セミナー室 他)

参加費 2,500円

※事前にお弁当を申し込んで下さい (800円)

\*分科会

- ①教育と人権 ②部落の歴史  
③多文化共生と教育 ④みんなで語ろう部落問題

◆全体集会 一人芝居 趙博さん

原作 目取真俊

脚本・演出・演劇 趙博

声体文藝館 水滴



浪花の歌う巨人  
パギヤン (趙博) 一人芝居

徳正の右足が突然膨れ出したのは、六月の半ば、空梅雨の暑い日差しを避けて、奥座敷の簡易ベッドで昼寝をしている時だった。……

ウクライナで、パレスチナで、終わらない止められない戦争の只中に生きる私たちは、なぜそれが始まったのか、なぜ世界は無為に傍観するばかりなのかと問いかけずにはいられません。ある国がある国を武力をもって攻撃し、占領し、その土地の人々も資源も支配収奪することで豊かになっていく、そうした価値観は19世紀、20世紀に過ぎ去ったはずなのに、私たちが生きる21世紀にも植民地主義の価値観ははびこって、抑圧と殺戮は繰り返されています。

かつて「終戦」を先延ばしするため日本政府によって捨て石とされた「沖縄」で作家目取真俊が描いた市井の人々の「戦後」を、趙博はペーソスを交えて演じます。一人芝居「水滴」は、日本の占領から「日本兵」として戦争を体験した一人の男が抱え持つ負い目や悲しみ、身近な人間の強欲、取り返しのつかない記憶など、複雑な立ち位置をユーモラスに表現します。「個人の尊厳」というものは、おもしろみや、おかしみのある人としての豊かさであり、それを抵抗の拠点とする人々への共感を手掛かりに、平和と人権について考える機会にしたいと思います。

主催 第56回人権交流京都市研究集会実行委員会

京都市小学校同和教育研究会 京都市立中学校教育研究会人権教育部会  
京都市交通局部落問題研究会 京都府庁部落問題研究会 京都市職員部落問題研究会  
部落解放同盟京都市協議会

後援 京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会  
京都市PTA連絡協議会 京都人権啓発企業連絡会 部落解放同盟京都府連合会



# 第56回人権交流京都市研究集会

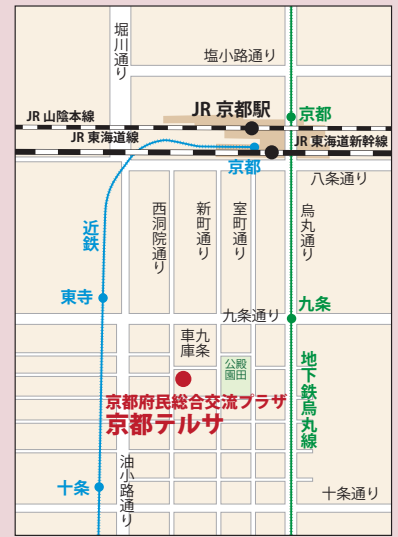
日時 2025年3月1日【土】  
全体会＝午前9時～午後12時30分(受付開始 午前9時)  
分科会＝午後1時30分～4時30分

場所 全体会＝京都テルサ (テルサホール)  
分科会＝京都テルサ (セミナー室／中会議室／視聴覚研修室)

京都府民総合交流プラザ 京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町70番地 ▶

参加費 2,500円 ※弁当は2月14日までにお申し込み下さい (800円)

◇参加を希望される方は、各団体または事務局にお申し込み下さい。  
当日会場に直接お越しいただいても参加できます。



## ● 分科会案内 ●

### 第1分科会 教育と人権

会場  
中会議室

#### 『部落差別をどう捉え、どう教えるか』

分科会の前半は、世界人権問題研究センター登録研究員の坂田良久さんから、ご講演を頂きます。坂田さんは、「10万人に伝えれば社会は変わる」を旨に、明るく楽しい啓発活動を実施。「部落差別解消推進法」の目的にある「情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」現在、必要とされる教育や啓発のあり方として、「個人の尊重の理念」について「アイデンティティの視点」からの提言を頂きます。人権の21世紀と謳われつつ、ネットをはじめとした差別が現存する現代社会に対して、学校が果たす役割や教師に求められる力とは何なのかを、参加者と共に議論し、見つめ直す機会にしたいと考えています。



### 第2分科会 部落の歴史

会場  
第2、第3セミナー室

#### 『ここ50年の歴史研究の進展がもたらした部落の新しい通史と展望について』

すべての小中学校の教科書から「土農工商えた非人」の図式が消え、今は部落の起源も「中世」であることがほぼ確定しました。最近起こったように見えるこの大きな部落歴史の変化は、ここ50年にわたる研究の進展から裏打ちされた具体的な成果です。講演ではその実際を、古代、中世、近世、近現代とたどりながら、この変化が豊かかつ不可逆的であることを紹介。新しい部落の時間旅行をともにしながら、最後は厳しい部落差別を解消する展望と見通しへと話題を進めます。京都から始まり全国へと広がった部落の歴史の旅をめぐることで、差別を克服する熱い思いもまた確かなものにする機会になればと思います。



### 第3分科会 多文化共生と教育

会場  
視聴覚研修室

#### 『外国籍および外国にルーツのある児童生徒の学びの保障を考える』

日本社会に共に生活する在日外国人市民は、2023年末時点で340万人をこえています。今回の分科会は、小中学校の外国人教育研究会が合同で行った「外国籍および外国にルーツをもつ児童生徒に関する実態調査2022」の結果と、そこから見えてきた“学ぶ権利”に関する課題を踏まえパネルディスカッションを行います。はじめに、これまで京都市立学校で外国籍および外国にルーツのある児童生徒を支援してきた教職員から、「学力・アイデンティティの保障実態と支援のあり方」、「高校入学に関する課題、在留資格と高校奨学金の実態」等について実践報告をおこないます。つづいて、上記テーマについて大学教員等の研究者より全国的な実態を踏まえた問題提起を行い、その後フロアのみなさんも加わり議論を深めたいと考えています。

### 第4分科会 みんなで部落問題

会場  
第1セミナー室

「部落差別がなぜ今もなくなるのか？その原因はなんなのか？」など、参加者ととともにその素朴な疑問を話し合える場所として分科会を設定します。

まずは身近なところでおこった差別事象として、20年前におこった京都市内での結婚差別事件を話のきっかけとして紹介します。本人の知らない間に戸籍謄本を第三者が勝手に入手するのは悪質なアウトティング行為であり、結婚に反対された本人はこの事件を通して初めて、自らが部落であることを知らされたのでした。身元を暴くために偽りの理由で戸籍を不正に取得する行為は犯罪です。こうした事例をもとに話し合い、互いの理解を深め、自由な討論を展開していきたいと思っています。

## 第56回人権交流京都市研究集會事務局

〒603-8151 京都市北区小山下総町5-1 京都府部落解放センター内  
TEL (075)415-1041 FAX (075)432-4485 E-mail : info@kyoken.jp  
<http://www.kyoken.jp/index.htm>